



通話

- [コールの発信, 1 ページ](#)
- [コールへの応答, 5 ページ](#)
- [コールのミュート, 7 ページ](#)
- [コールの保留, 7 ページ](#)
- [コールの転送, 10 ページ](#)
- [通話の転送, 11 ページ](#)
- [電話会議とミーティング, 12 ページ](#)
- [電話機のグループのページング \(マルチキャスト ページング\) , 12 ページ](#)
- [複数の回線, 13 ページ](#)

コールの発信

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

電話をかける

この電話機では、他の電話機と同じようにコールを発信できます。


手順

電話番号を入力して、[発信 (Call)] を押します。

スピーカーフォンによるコールの発信

スピーカーフォンは、ハンズフリー コールに使用します。ただし、同僚がこちらの声を聞いている可能性があることに注意してください。


手順

-
- ステップ1 キーパッドを使用して番号を入力します。
 - ステップ2 [スピーカーフォン (speakerphone)] ボタン  を押します。
-

ヘッドセットによるコールの発信

ヘッドセットをハンズフリー コールに使うと、同僚の邪魔にならず、プライバシーも得られます。

手順

-
- ステップ1 ヘッドセットを差し込みます。
 - ステップ2 キーパッドを使用して番号を入力します。
 - ステップ3 [ヘッドセット (headset)] ボタン  を押します。
-

番号をリダイヤルする

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信することができます。

手順

-
- ステップ1 (任意) 回線を選択します。
 - ステップ2 [リダイヤル (Redial)] を押します。
 - ステップ3 [発信履歴 (Placed calls)] リストから連絡先を選択し、[発信 (Call)] を押します。
-

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能を使用すると、ボタン押し、事前設定コードの入力、または電話スクリーンの項目の選択により、コールを発信できます。短縮ダイヤルは、電話スクリーンまたは電話機の Web ページから設定できます。

短縮ダイヤルコードを編集、削除、および検証できます。


関連トピック

[\[設定ユーティリティ \(Configuration Utility\) \] ページ](#)
[短縮ダイヤル番号](#)

電話スクリーンからの短縮ダイヤルコードの割り当て

電話スクリーンから短縮ダイヤルを設定できます。電話機の [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページから短縮ダイヤルコードを割り当てることもできます。

手順

-
- ステップ 1 [アプリケーション (Applications)] ボタン  を押します。
 - ステップ 2 [短縮ダイヤル (Speed dial)] を選択します。
 - ステップ 3 割り当てられていない短縮ダイヤルインデックスまでスクロールします。
 - ステップ 4 [編集 (Edit)] ボタン を押し、次のいずれかを実行します。
 - 名前と番号を入力します。
 - アドレス帳から連絡先を選択するには、[オプション (Option)] > [連絡先から選択 (Select from contact)] の順に選択します。
 - ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。
-

短縮ダイヤルコードを使用したコールの発信

はじめる前に

電話機の [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページ、または電話機の [アプリケーション (Applications)] メニューで、短縮ダイヤルコードをセットアップします。

手順

短縮ダイヤルコードを入力し、[発信 (Call)] を押します。

回線キーの短縮ダイヤルを設定する

電話機の任意のアイドルな回線キーを押して短縮ダイヤルをセットアップできます。電話スクリーン上の回線キーの隣に、短縮ダイヤルアイコン、名前、および内線番号が表示されます。また、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページの [拡張機能 (Extended Function)] フィールドでこの変更を確認することもできます。回線キーの短縮ダイヤルを設定した後で、回線キーを押して、短縮ダイヤル情報を変更して新しい電話番号と名前を割り当てることができます。

はじめる前に

Web ページに移動し、短縮ダイヤル キーになる回線キーを無効にします。

手順

-
- ステップ 1 電話機の任意のアイドルな回線キーを少なくとも 2 秒間押します。
 - ステップ 2 [短縮ダイヤル (Speed-Dial)] ウィンドウで、この回線キーを押したときに呼び出す短縮ダイヤル名と電話番号を追加します。
 - ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。
-

回線キーから短縮ダイヤルを削除する

電話機の回線キーを押して、割り当てられた短縮ダイヤルを削除できます。回線キーの短縮ダイヤルが削除されます。短縮ダイヤルが削除されていることを確認するには、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページを確認します。

手順

-
- ステップ 1 短縮ダイヤルが設定されている回線キーを少なくとも 2 秒間押します。
 - ステップ 2 電話スクリーンの [短縮ダイヤル (Speed-Dial)] ウィンドウで [オプション (Option)] > [削除 (Delete)] を押します。
-

国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

手順

-
- ステップ 1 アスタリスク (*) を 1 秒間以上押したままにします。

電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。

- ステップ 2** 番号をダイヤルします。
最後のキーを押してから 10 秒後に、電話機から番号が発信されます。
-

安全なコール

社外の人物による不正な改ざんからコールを保護するために、管理者は措置を講じることができません。通話中にロックアイコンが電話機に表示される場合、コールは安全です。電話機の設定によっては、電話をかける前にサインインする必要が生じたり、ハンドセットからセキュリティトーンが聞こえたりすることがあります。

コールへの応答

Cisco IP Phone は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

コールに応答する

手順

赤色に点滅している回線ボタンを押します。

コール待機への応答

アクティブコール中にコール待機が発生すると、ブープ音が一度聞こえて、回線ボタンが赤色に点滅します。

手順

- ステップ 1** (任意) 複数のコール待機が存在する場合は、着信コールを 1 つ選択します。
ステップ 2 [回線ボタン (line button)] を押します。
-

コールの拒否

アクティブコールまたは呼び出し中の着信コールを、ボイスメールシステムや設定済み電話番号に送信できます。

手順

着信コールを強調表示して、[拒否 (Decline)] を押します。

応答不可をオンにする

特定の作業に集中したいときに応答不可 (DND) 機能を使用すると、電話機をサイレント状態にして着信コール通知を無視できます。

DND をオンにすると、着信コールはボイスメールなどの別の番号 (設定されている場合) に転送されます。DND は電話機のすべての回線に影響します。ただし、DND がオンになっていてもインターコム コールと緊急通話は常に受信します。

DND がオンの場合、電話スクリーンのヘッダー セクションの色が変化し、[応答不可 (Do not disturb)] が表示されます。

ユーザ設定を使用して DND を制御することもできます。詳細については、[設定](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 サイレントをオンにするには、[サイレント (DND)] を押します。

ステップ 2 DND をオフにするには、[DND をクリア (Clr DND)] を押します。

スターコードを使用して DND をオンまたはオフにする

電話機で設定されているそれぞれのスターコードをダイヤルすることにより、応答不可機能をオンまたはオフにすることができます。管理者は、[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで [DND アクティブ化コード (DND Act Code)] フィールドおよび [DND 非アクティブ化コード (DND Deact Code)] フィールドにそれぞれスターコードを入力します。

手順

ステップ 1 DND をオンにするには、管理者によって指定されたスターコードをダイヤルします。

ステップ 2 DND をオフにするには、管理者によって指定されたスターコードをダイヤルします。

同僚の電話機に应答する（コールピックアップ）

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに应答することができます。まず、管理者が少なくとも1つのコールピックアップグループにこのユーザを割り当てる必要があります。

グループ内のコールに应答する（ピックアップ）

自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに应答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに应答することになります。

手順

-
- ステップ1 (任意) [回線ボタン (line button)] を押します。
 - ステップ2 自分のピックアップグループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ (PickUp)] を押します。
-

コールのミュート

コール中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

手順


-
- ステップ1 [ミュート (Mute)]  を押します。
 - ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。
-

コールの保留

コールを保留にする

アクティブコールを保留にしたり、準備が整ったときに保留中のコールを再開したりできます。

手順



-
- ステップ 1** [保留 (Hold)]  または [保留 (Hold)] ソフトキーを押します。
- ステップ 2** 保留中のコールを復帰するには、[復帰 (Resume)] ソフトキーまたは [保留 (Hold)] ボタンを押します。
-

長時間にわたって保留されているコールに应答する

保留状態が長くなると、次のようなキューによる通知が表示されます。

- 赤色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージインジケータ
- 電話スクリーン上の [視覚的な通知 (Visual notification)]
- [電話 (Phone)] Web ページで保留リマインダが設定されている場合の電話機の呼び出し通知

手順

[保留 (Hold)]  または [復帰 (Resume)] を押して、保留中のコールを復帰します。 [保留 (Hold)]  または [復帰 (Resume)] を押して、保留中のコールを復帰します。

アクティブコールと保留コールの切り替え

アクティブなコールと保留中のコールは、簡単に切り替えることができます。

手順

保留コールの回線ボタンを押すと保留コールが再開され、もう 1 つのコールが自動的に保留になります。

コールパーク

電話機を使用して、コールをパークすることができます。その後、自身の電話機または別の電話機 (同僚のデスクや会議室にある電話機など) からそのコールを取得できます。

コールがパーク状態にある時間が長すぎる場合、アラート トーンが聞こえます。この電話機でコールに应答するか、別の電話機から取得することができます。所定の時間内にコールに应答し

ない場合、システム管理者が設定した別の接続先（ボイスメールなど）にコールがルーティングされます。

コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブ コールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

また、自分の電話機にコールをパークすることもできます。その場合、録音は再生されない可能性があります。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

はじめる前に

コールがアクティブでなければなりません。

手順

-
- ステップ 1** [パーク (Park)] を押します。
電話機は、パークされたコールの番号を尋ねる録音済みメッセージを再生します。
 - ステップ 2** (任意) キー拡張モジュールでコールパークが設定されている場合は、コールパークの回線キーを押します。
 - ステップ 3** 番号を入力してシャープ (#) を押します。
 - ステップ 4** (任意) パークされた番号を、コールを取得する相手に伝達します。
-

コールパークを使用して保留中コールを取得する

ネットワークの任意の場所から、パークされたコールをピックアップできます。

はじめる前に

コールのパークに使われた番号を知っておく必要があります。

手順


-
- ステップ 1** [パーク解除 (Unpark)] を押します。
 - ステップ 2** (任意) キー拡張モジュールでコールパークが設定されている場合は、コールパークの回線キーを押します。
 - ステップ 3** コールがパークされている番号とシャープ (#) を入力します。
また、シャープ (#) を入力して、パークされているコールを取得することもできます。自分の電話機にパークされているコールを取得する場合は、番号を入力する必要はありません。
-

コールの転送

電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の2つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

回線が転送されると、その回線に [不在転送 (Forward all)]  アイコンが表示されます。

手順

-
- ステップ1** 転送される回線が非アクティブである場合は、[転送 (Forward)] を押します。
- ステップ2** 自分の電話機からダイヤルするのとまったく同じ方法で転送先番号を入力するか、最近の通話履歴からエントリを選択します。
-

設定ユーティリティを使用して特定の状況でコールを転送する

設定ユーティリティを使用して、電話機が話中の場合などの特定の条件下ですべてのコールを転送するように電話機をセットアップできます。

また、ユーザ設定からコール転送をセットアップすることもできます。詳細については、[設定](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ1** [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで、[ユーザ ログイン (User Login)] > [ボイス (Voice)] > [ユーザ (User)] をクリックします。
- ステップ2** [コール転送 (Call Forward)] セクションで、[コール転送設定 (Cfwd Settings)] を [はい (Yes)] に設定し、有効にする各コール転送サービスの電話番号を入力します。
- [すべてコール転送の宛先 (Cfwd All Dest)] : すべてのコールを転送します。
 - [話中コール転送の宛先 (Cfwd Busy Dest)] : 回線が話中の場合にのみコールを転送します。
 - [無応答時コール転送の宛先 (Cfwd No Ans Dest)] : 回線の応答がない場合にのみコールを転送します。
 - [応答されない場合にコール転送: 遅延 (Cfwd No Ans Delay)] : 応答遅延時間を割り当てます。

管理者が電話機の機能キー同期（FKS）を無効にすると、コールの転送が必要になるまでの値を秒数として入力できます。

管理者が電話機の機能キー同期（FKS）を有効にすると、コールの転送が必要になるまでの値を呼出回数として入力できます。

ステップ 3 [すべての変更内容を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

通話の転送


アクティブ コールを別の人に転送することができます。

別のユーザにコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、電話を切る前に別の相手と個別に話す機会が得られます。話す必要がない場合は、別の相手が応答するのを待たずにコールを転送します。

電話を切る前に両方の発信者を切り替えてそれぞれと会話することもできます。

手順

- ステップ 1** 保留中ではないコールで、[転送（Transfer）]  を押します。
 - ステップ 2** 別の担当者の電話番号を入力します。
 - ステップ 3** （任意） 回線呼出音が鳴るか、他の相手がコールに応答するまで待機します。
 - ステップ 4** （任意） 回線キーを押して、保留中のコールに戻ります。
 - ステップ 5** 再度 [転送（Transfer）] を押します。
-


転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。

はじめる前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

手順



-
- ステップ1 [転送 (Transfer)]  を押します。
 - ステップ2 転送先の相手の電話番号を入力します。
 - ステップ3 別の相手が応答すると、会話することができます。
 - ステップ4 (任意) 回線キーを押して、保留中のコールに戻ります。
 - ステップ5 (任意) 回線キーを押して、転送先電話番号に戻ります。
 - ステップ6 [転送 (Transfer)] を押して転送を開始します。
-

電話会議とミーティング

1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線がある場合は、2つの回線にまたがる2つのコールを結合できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

他の人をコールに追加する

手順

-
- ステップ1 アクティブ コールから、[会議 (Conference)]  を押します。
 - ステップ2 追加する通話相手の電話番号を入力し、[ダイヤル (Dial)] を押します。
 - ステップ3 [会議 (Conference)] ボタン  を押します。会議が開始されます。
-

電話機のグループのページング (マルチキャストページング)

管理者は、電話機をページンググループの一部として設定できます。ページンググループでは、電話機は電話システム内の他のマルチプラットフォーム フォンからのページに自動的に応答できます。各ページンググループには固有の番号が関連付けられています。管理者は、設定済みのページンググループ番号をユーザに提供します。電話機がページングされている場合、3つの短いビープ音が聞こえます。電話機は、ユーザと発信元電話機の間片通話を確立します。ページを受け入れる必要はありません。

手順

ページング グループの番号をダイヤルします。

複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

最も古いコールから応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を操作しているときには、通常、応答したい着信コールの回線ボタンを押します。回線とは無関係に最も古いコールに応答するには、[応答 (Answer)] を押します。

電話機ですべてのコールを表示する

(すべての電話回線からの) すべてのアクティブ コールのリストを、古いものから順番に表示できます。

すべてのコールのリストは、複数の回線がある場合、または他のユーザと回線を共有している場合に役立ちます。このリストにはすべてのコールが一緒に表示されます。

共有回線

同じ電話番号を1人または複数の同僚と共有できます。たとえば、管理者のアシスタントは、管理者のためにコールの発信者名確認を担当することがあります。

電話番号を共有すると、他の通常の電話回線と同じようにその回線を使用できますが、共有回線に特有の次のような動作に注意してください。

- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 誰か同僚がコールに応答した場合、手元の電話機の共有回線ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。
- 自分がコールを保留にした場合、自分の回線ボタンが赤色に点灯し、セッションボタンが赤色に点滅します。同僚の回線ボタンも赤色に点灯し、セッション ボタンが赤色に点滅します。

[共有回線 (Shared Line)] のコールに参加する

自分または同僚は、共有回線上のコールに参加できます。その場合は、管理者が電話機の機能を有効にする必要があります。

自分が回線を共有するユーザのプライバシー機能が有効になっている場合、そのユーザの回線設定を参照したり、そのユーザのコールに自分を追加したりすることはできません。

手順

-
- ステップ 1** [共有回線 (Shared Line)] の [回線 (Line)] ボタンを押します。
- ステップ 2** [割り込み (Barge)] または [サイレント割り込み (BargeSilent)] を押します。
-